

## 施策評価調書(25年度実績)

施策コード I-5-(2)

政策体系	施策名	循環を基調とする地域社会の構築	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	47
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおいた作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、商工労働部、土木建築部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	廃棄物の減量化・再資源化と適正処理の推進	大気・水環境・化学物質対策の推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		25年度			26年度	27年度	目標達成度(%)														
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125										
i	①	H15	1,116	919 (H24)	947 (H24)	97.0%	890以下	876以下															
ii	①	H15	16.7	22.1 (H24)	20.4 (H24)	92.3%	22.9以上	23.4以上															
iii	①	H16	7	460	2,053	446.3%	480	500															
iv	①	H12	31	40以上 (H21)	55.6 (H21)	139.0%	55.0	55.1以上															
v	②	H16	95.2	97.4 (H24)	96.5 (H24)	99.1%	97.8	98															
vi	②	H15	86	95.0 (H24)	90.9 (H24)	95.7%	97.0	98															
vii	②	H16	58.6	69.4 (H24)	70.0 (H24)	100.9%	71.9	73.1															

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等		平均評価
i	概ね達成	住民啓発、地域活動の浸透等により、目標値を概ね達成している。なお25年度実績が27年4月公表のため、25年度の目標値と実績は24年度の数値を記載している。		達成
ii	概ね達成	市町村の分別収集・処分リサイクル体制が整備されてきており、目標値を概ね達成している。なお25年度実績が27年4月公表のため、25年度の目標値と実績は24年度の数値を記載している。		
iii	達成	既にリサイクル品として活用されていた製品が新たに認定となったことや、各自治体が認定製品を活用する動きが見られたために、目標値を大きく上回った。		
iv	達成	建設材料及び肥料・土壌改良材とその原材料への再生利用実績が高く、目標値を達成している。今後、リサイクル率の高い建設廃棄物の割合が公共工事の減少で少なくなり、全体のリサイクル率も下がってくる予測であるため、H27の目標値以下にならないように施策を展開する。なお、調査は5年に1回実施しているため、目標値と実績は21年度の数値を記載している。		
v	概ね達成	光化学オキシダントの原因物質であるVOCを取り扱う事業所への立入指導等を行いVOC排出量削減に努めているが、大陸からの大気汚染物質の移流等の原因により、概ね達成になった。なお25年度実績が26年10月公表のため、25年度の目標値及び実績は24年度の数値を記載している。		
vi	概ね達成	24年の九州北部豪雨の影響等で前年度より若干低くなったが、工場・事業場への排水監視や生活排水処理率等の向上により、基準年と比し水質が改善されてきたことから、概ね達成になった。なお25年度実績が26年10月公表のため、25年度の目標値及び実績は24年度の数値を記載している。		
vii	達成	市町村による生活排水処理施設の整備促進、市町村への財政的支援と指導・助言により、目標値を達成している。なお、25年度実績が26年9月頃公表のため、25年度の目標値及び実績は24年度の数値を記載している。		

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・巡回監視やスカイパトロールの実施に加え、経営実態の監視指導の徹底による産業廃棄物の不法投棄・不適正処理防止対策の強化を行った。
②	・水質汚濁防止法等に基づく第7次水質総量削減計画に基づき水質の向上に努めた。水生生物調査において、水質階級Ⅱ以上(比較的きれいな水)の地点の割合が8割を超えている(H24: 84.2%)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業	22,465	継続	88
	県外産業廃棄物対策事業	106,183	継続	89
	海岸漂着物地域対策推進事業	19,630	継続	90
②	小規模給水施設普及支援事業	20,445	継続	87
	生活排水処理施設整備推進事業	316,013	継続	199
	生活排水処理施設整備事業	76,576	継続	200

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ごみゼロおおいた作戦県民会議廃棄物・大気・水環境部会(H25.12) <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気常時監視測定局を設置してほしい。(由布市)</li> </ul> </li> <li>○ごみゼロおおいた作戦県民会議廃棄物・大気・水環境部会(H26.5) <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸漂着物の漂着状況について調べてほしい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第6回安心・活力・発展プラン2005推進委員会(H25.12) <ul style="list-style-type: none"> <li>・PM2.5対策について検討してほしい。</li> </ul> </li> <li>○大分県環境審議会第13回総合政策部会(H25.12) <ul style="list-style-type: none"> <li>・PM2.5にかかる情報提供体制を強化してほしい。</li> </ul> </li> </ul>
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、経済の状況によっては、不法投棄の増加が懸念されるため、引き続き監視活動の強化を行う。</li> <li>・平成26年度より県独自の産業廃棄物処理業者評価制度を創設し、適正処理に向けた処分業者全体のレベルアップを図る。</li> <li>・平成24年度に策定した大気測定局の再配置検討方針を踏まえ、光化学オキシダント(光化学スモッグ)やPM2.5等の広域汚染に対応するための測定体制の整備を進める。</li> <li>・「きれいな海岸づくり強化期間」を設け、特に重点的にきれいな海岸づくりを推進する。</li> <li>・豊かな水環境を創出するため、モデル河川を選定し、地元住民の主体的な活動を支援する。</li> </ul>